

第18回財団杯タグラグビー大会 兼  
SMBC カップ第21回全国小学生タグラグビー大会十勝支部予選  
開催要項

- 目的 全国各地の小学生が、ラグビーからコンタクトを除いたタグラグビーをプレーすることにより、仲間と助け合って自ら考えて道を切り開くラグビースピリットを身に付ける楽しさと教育効果を通じて、スポーツの意義を実感すると共に、ラグビー競技の普及振興及び子どもたちの健全育成を図る。
- 主催 帯広市文化スポーツ振興財団 (財)日本ラグビーフットボール協会  
後援 帯広市教育委員会  
主管 関東ラグビーフットボール協会 北海道ラグビーフットボール協会 十勝ラグビーフットボール協会  
期間 令和6年12月1日(日)  
会場 帯広市総合体育館(よつ葉アリーナ十勝)
- 競技規則 (財)日本ラグビーフットボール協会タグラグビー標準競技規則及び別紙決勝大会規則・大会規則に準ずる。  
競技方法 リーグ戦とトーナメント戦の併用  
参加資格 (1)小学4～6年生(日本の学期制による)で編成した7～10人のチームで、学年の編成内容は問わない。ただし、十勝大会においては、小学1～3年生までのチームのエキシビジョンマッチも開催します。  
(2)単一の小学校が望ましいが、地域小学校(複数の小学校)の生徒での参加も可とする。  
**単一校を主体としてチームを編成することが可能でありながら、混成チームを容認することではない点に留意すること。**  
(3)参加選手は各自もしくは各チームでスポーツ傷害保険に加入していること。  
(4)参加チームは成人2名が必ず帯同コーチとして引率し、登録選手の保護者から参加の承諾を得ていること。また、大会要項に定める大会規則の遵守を誓約すること。  
(5)帯同コーチは当該チームの指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。但し、予選大会においては帯同コーチが複数のチームを兼任することは構わない。  
(6)帯同コーチは所属小学校長(複数であれば総て)の承認を受けることが望ましい。但し、必ずしも小学校長の承認がなくても、帯同コーチの責任において参加することも可能とする。
- 罰則 大会要項、大会諸規則、競技規則について、違反などスポーツマンシップに反する行為があった場合は厳重な処罰を行う。
- 安全対策 (1)大会期間中は主管団体が所定の救急指定病院を案内する。  
(2)セーフティアシスタント、ウォーターボーイ(1名)は各チームで用意すること。  
(3)試合中の傷害について、当日の応急の医療処置は主管団体が施すが、事後処理はチーム及び保護者が行うものとする。  
(4)大会期間中の保険については、各チームで加入することが望ましい。
- 健康管理 (1)大会参加にあたっては、当該チームにて予め健康管理を行い、充分留意すること。  
(2)試合中以外での病気傷害についてはチーム内で処理すること。  
(3)参加選手は必ず保険証またはそのコピーを持参すること。
- 費用 参加費用は1チーム3,000円とする。
- 表彰 優勝チームには、財団杯及びメダル・賞状、準優勝チームには、メダル及び賞状、第3位チームには、賞状をもって表彰する。上位チームは、北海道大会への出場権を与える(出場枠については、参加チーム数による)
- 申込締切 令和6年11月14日(木)とする。  
申込先 十勝ラグビーフットボール協会事務局  
申込先 〒080-0022 帯広市西12条南29丁目2-15  
タグラグビー大会事務局 五十嵐 真佐紀 宛  
メールアドレス [iga-paint@f1.octv.ne.jp](mailto:iga-paint@f1.octv.ne.jp)
- その他 上靴と昼食は参加者が用意する。  
問合わせ 十勝ラグビーフットボール協会 タグラグビー大会担当  
帯広少年ラグビースクール 五十嵐真佐紀 (携帯 090-2697-8972)